

事務事業名	体験教育旅行を含む体験型観光推進事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	16	終了	
H27担当課等名	観光課	H27係等名	広域観光係	H26係等名	広域観光係								
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり										
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり										
目的	対象(誰・何を)	体験教育旅行を受け入れる農家や団体・個人						対象指標	指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	安心、安全といった質の高い受入れをする							体験教育旅行受入農家数(戸)		155		
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)											
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)				
	成果指標	農家民泊利用学校数(校)			60	69	70	75					
	成果指標	体験教育旅行受入学校数(校)			100	76	85	100					
	定性目標												
事業概要	<p>体験教育旅行受入れ農家に対する研修会を開催し、受入れ側の安心、安全といった質の向上を図る。 体験型観光受入れ関係団体や個人の学習会を開催し、インストラクターとしての質の向上を図る。 民泊に必要な簡易宿所の資格取得の指導及び助成を行い、民泊農家数の拡大を図る。</p>												
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標				
	1 体験教育旅行受入れる農家、個人及び団体を対象とした研修会				1 開催数				1 22回				
	2 インタープリター養成講座				2 開催数				2 3回				
	3 簡易宿所資格取得促進業務				3 資格取得件数				3 10件				
	4 体験型企业研修プログラムの企画案内				4 企業数				4 7社				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		879	925	917	955								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		879	925	917	955								
人件費計(千円)②		5,364		3,934									
正規職員所要時間		1,500		1,100									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		6,243	925	4,851	955								
事業内容・目標達成状況の振り返り	簡易宿所資格取得の促進により、農家民泊利用学校の確保を図るとともに、事故防止のための研修会を開催し、事故の再発防止を図った。												
改革改善の考え方	①問題点	㈱南信州観光公社では、簡易宿所資格取得や研修会の開催等により受入れ体制の整備は進んでいるところであるが、一方で全国的に同業者の顧客確保の競争が激化している中で、顧客獲得のための取り組み不足により受入学校数は減少傾向にある。											
	②改革提案	観光課や飯田観光協会との連携を強化し、季節を問わず年間を通じて安定した受け入れができる体験プログラムの開発や今まで営業に行っていない圏域への積極的なアプローチを行うとともに、県の観光協会に働きかけて訪日教育旅行の誘致拡大に向けて取り組んでいく。											